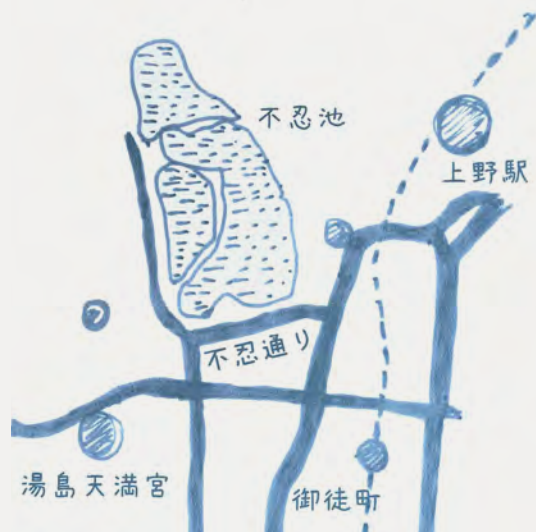




しのばずいけまち研究会

SHINOBAZU IKEMACHI MEETING - CONCEPT BOOK 2021



か
ん
が
え
る
。
ほ
こ
み
ち
を
不
忍
通
り
で

>>> もくじ

まちづくりは、クルマからヒトへ。	2
上野は、豊かな街路文化のまち。	4
不忍通りは、もっとヒト優先になれる。	6
目指すのは「不忍池とともに生きるまち」。	8
「しのばずいけまち研究会」	10
調査のまとめ① 不忍通りの移り変わり	12
調査のまとめ② 不忍池と水上音楽堂	14
調査のまとめ③ 不忍通りのいま	16
ワークショップでの意見	18
“ほこみち制度”を使ってみる。	20
不忍通りで掲げる 6つのコンセプト	22
もしも車道を狭めることができたなら。	24
こんな車線の減らし方があるのでは？	26
育てたい、こんな風景やアクティビティ。	28
こんな機能も組み込めるかも。	30
音楽堂も時代にあわせて見直したい。	31
地元ができる取り組みからはじめたい。	32
最先端のウォーカブル都市を目指して…	34
この冊子について／研究会参加メンバー一覧	36

まちづくりは、クルマからヒトへ。

「ウォーカブル」が世界で、日本で、進んでいます。

》》》 各地の事例

池袋も、新宿も、渋谷も。

世界の多くの都市で、まちなかをクルマ中心からヒト中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げる場へ改変する取り組みが進められている。東京でも池袋や新宿、渋谷などが、積極的にウォーカブルなまちづくりに取り組んでいる。



池袋駅東口・グリーン大通りの将来イメージ¹⁾



新宿駅西口広場²⁾・渋谷駅周辺³⁾の将来イメージ

》》》 台東区の

まちづくりビジョン⁴⁾でも。

台東区の「上野地区まちづくりビジョン」の中でも、地区全体で取り組むべきまちづくりの方向性として、「歩行者優先のわかりやすい都市空間の創出」と「杜とまちをつなぐ歩行者ネットワークの強化」が掲げられている。



》》》 上野でも

はじまりつつある動き。

すでに上野においても上野駅公園口のロータリー化による歩行者優先の空間整備が実現したほか、上野～湯島をつなぐ仲町通りでの「ガイトウスタンド」を活用した新しいスタイルの道路利活用など、ウォーカブルなまちづくりが芽生えつつある。



上野駅公園口



ガイトウスタンド

- 1) 池袋駅周辺地域再生委員会『池袋駅周辺地域基盤整備方針 2018』2018 年 5 月
- 2) 東京都・新宿区『新宿駅直近地区に係る都市計画案について』2019 年 9 月
- 3) 渋谷区『渋谷駅周辺まちづくり基本理念』2020 年 4 月
- 4) 台東区『上野地区まちづくりビジョン』2020 年 3 月
- 5) 久保田尚らの研究チームによる一連の研究（佐藤学ほか『歩行者の笑顔に着目した歩行空間評価指標に関する研究』土木計画学研究・論文集 第 31 巻, 2014 など）
- 6) ニューヨーク市交通局『The Economic Benefits of Sustainable Streets』2014 年 1 月

C O L U M N コ ラ ム

😊 歩行者優先だと笑顔が増える

埼玉大学チームの調査研究⁵⁾によると、歩行者天国時は通常時に比べ、歩行者に笑顔が増える傾向があると報告されている。

通常時でも、その道路における自動車が少ないほど、複数人で歩く場合ほど、あるいは沿道に花屋や商業施設が多い場合ほど、歩行者の笑顔が多くなるという分析結果が出ている。

ただし、歩道が広いと自転車とのバッティングが増え、笑顔度が下がる傾向もあるという。

😊 歩行者優先だと売上が増える

大胆な道路空間改善を次々進めているニューヨーク市交通局のレポート⁶⁾では、その経済効果をしっかりと測定し、公開している。

道路の余剰空間に広場をつくった 3 地区、道路構成を見直した 4 地区の計 7 地区で消費税データをもとに周辺店舗の売上を分析したところ、7 地区のうち 6 地区で、明らかな売上げが確認されている。

上野は、豊かな街路文化のまち。

このまちこそ、東京を代表するウォーカブル先進地になれるはず。

》》 かつてのホコ天をはじめ、 街路文化が豊かな上野。

上野は歴史的にも、路上空間が様々な形で豊かに利用されてきたまちだ。寛永寺参道として栄えた「上野広小路」。北の玄関口として賑わいを見せた上野周辺には路面電車が3系統走り、「東洋一長い歩行者天国」もあった。そして、間口の狭い店が立ち並ぶ「アメヤ横丁」は、現在でも上野の路上文化のシンボルとして多くの観光客を呼び寄せている。

》》 しかし実空間は、 ほとんどクルマのため。

自動車の増加に合わせ、渋滞解消のために上野駅前は徐々に自動車優位の空間となり、歩行者の利便性は下がる一方となった。来訪者誘致のための巨大地下駐車場も整備されるが、実際の来訪者は9割以上が公共交通を利用している。上野を訪れた人々をまず迎え入れる風景が駅前に広がるタクシー広場や幹線道路となっているのはあまりにもったいない。

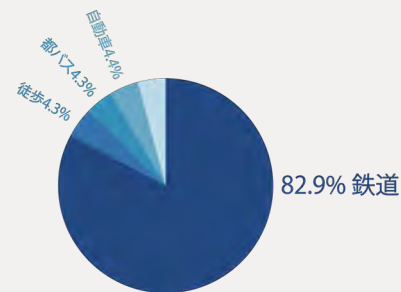
- 1) 『台東区今昔物語 第12回上野広小路』<http://www.e-navilife.com/taito/story/06/06/index.html>
- 2) 台東区『平成30年度 台東区観光統計・マーケティング調査報告書』2018
- 3) 上野観光連盟『上野公園とその周辺目でみる百年の歩み』1973より 1972年4月の上野広小路の歩行者天国
- 4) 保坂三蔵編『東京上野の五百年』1983, 東洋堂企画出版社より引用



「上野広小路」¹⁾



「アメヤ横丁」



上野来訪者の交通手段²⁾



「歩行者天国」³⁾



「外飲み」



「路面電車」⁴⁾



広い車道に比べて細い歩道



閉鎖的な音楽堂バックヤード



緑豊かな不忍池畔遊歩道



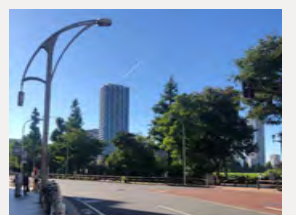
上野の歩行者空間



駅前に広がるタクシー広場



片側3車線の大きな交差点

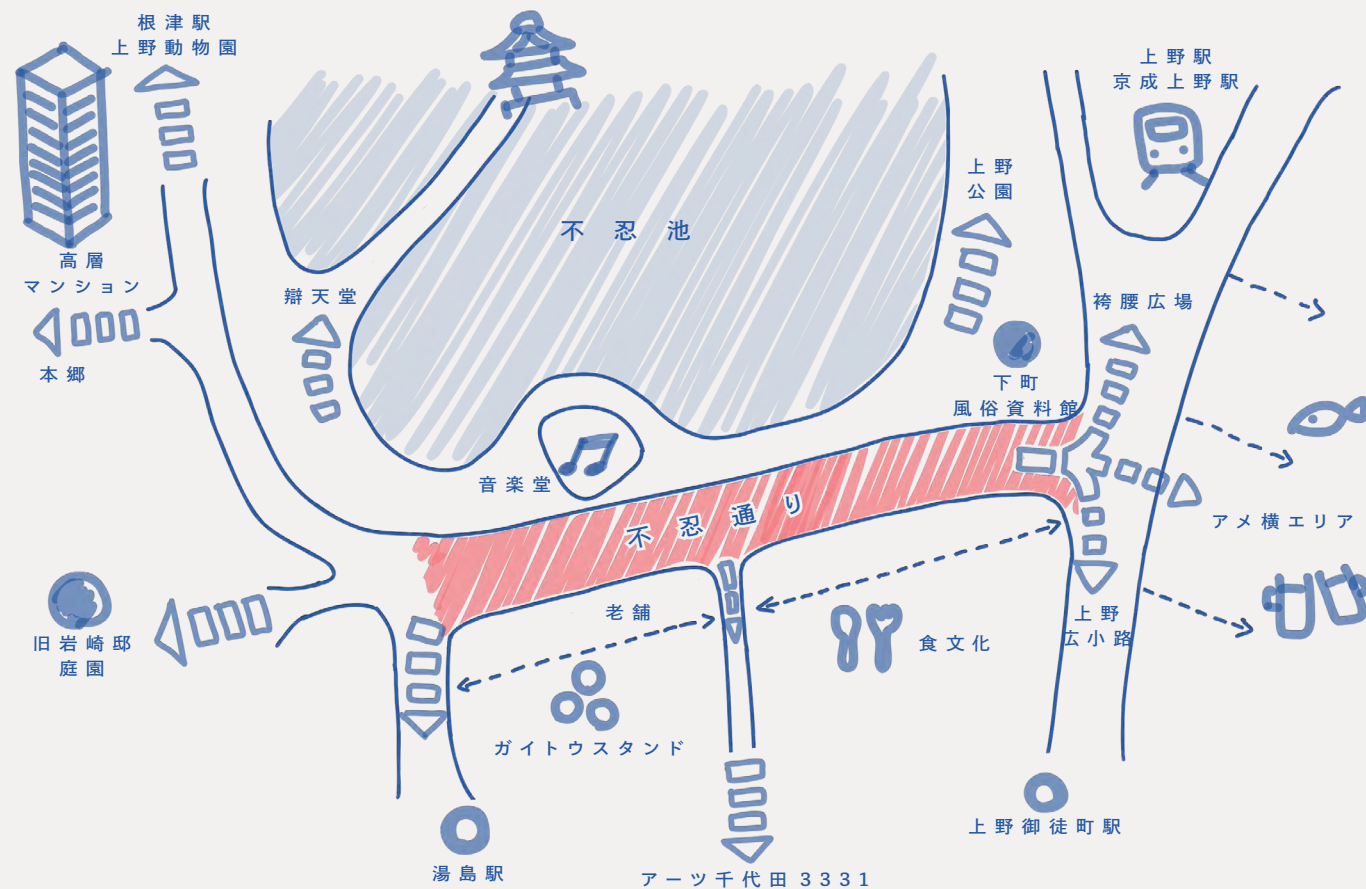


車道が分断する池とまち

不忍通りは、もっとヒト優先になれる。

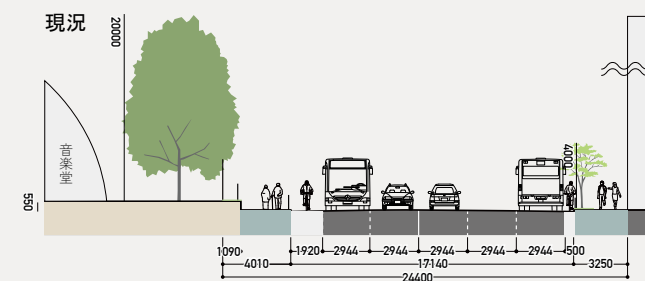
池とまちの接点から、上野のウォークブルを構想する。

着目するのは、
不忍池の南側の区間。



現状の不忍通りは
最大で5車線

不忍通りの同区間は片側2車線、交差点付近では最大で5車線。道路幅員は約24mで、うち歩道は約3mしかなく、約17mが車のための空間として計画されている。
周辺の幹線道路に比べると自動車交通量は少ない印象があり、閑散としていることも多い通りである。



例えばこんなストリートも、幅員は不忍通りと同程度。



丸の内仲通り
千代田区／幅員 21m



新宿モア4番街
新宿区／幅員 22m



三宮中央通り
神戸市／幅員 25m



大手モール
富山市／幅員 27m

目指すのは「不忍池とともに生きるまち」。

「ウォーカブル」で、池とまちをつなぎなおそう。

池とまちがつながれば、
山とまちもつながるはず。

上野のまちの積年の課題は「山から人が降りてこない」ことだと言われている。不忍通りがもっと渡りたくなる環境になり、まちと不忍池が溶け合うような関係をつくりたい。そうなればきっと、上野の山と上野のまちのつながりも生まれてくるはず。



上野のまち

上野の山



2021年5月、スタート。

「しのばずいけまち研究会」

不忍通りから人のための空間をつくり出し、ウォーカブルな都市・上野を目指すことをテーマに、月1回の勉強会がスタートした。中心メンバーは、沿道の地元関係者の方々、境界の新しいまちづくりを志す方々、東京大学都市工学科の都市デザイン研究室の面々。ある時は地元の空きスナックに、ある時はオンラインで。事例を学びながら、模型を囲んで、フラットな関係で議論を行っている。「しのばずいけまち研究会」のネーミングも、勉強会参加者の発案から決定したものだ。

不忍通りの 移り変わり

調査のまとめ①

1908



明治初期



1967



1974



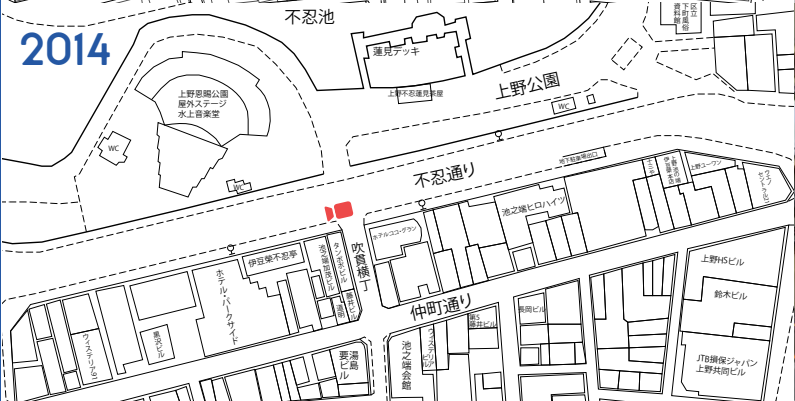
1990



1990



2014



2014



不忍通り周辺

上野全体

江戸時代

- 汚水流入を防ぐための水路＋三橋設置

1875

1903

1907

1916

- 忍川暗渠化・三橋撤去

1930 ごろ

- 道路拡幅

1946

- 池の水が落とされ上野田圃に

1950

- 不忍池で納涼大会開催

1952

1953

- 初代音楽堂完成

1959

- 公園の夜間開放許可

1968

- バス停設置

1971

1973

- 都電廃止
- 上野－銀座間のホコ天開始

1978

1980

- 区立下町風俗資料館開館

1986

- 不忍池地下駐車場建設計画

1988

- 二代目音楽堂完成
植栽帯・園路整備

1992

- 中央通り側公衆トイレ改修

2001

- 上野地区ホコ天終了
旧岩崎邸庭園開園

2008

- 蓮見茶屋開業

2009

- 地下駐車場出口設置

2014

- 蓮見デッキ整備

2016

- 蓮見茶屋閉業

- 上野恩賜公園再生基本計画

左上地図 『明治四十一年一月調査東京下谷区全図』台東区立中央図書館所蔵 撮影：大倉保五郎
右上写真 『不忍池南側（水上音楽堂前交差点）』台東区立中央図書館所蔵 撮影：台東区
右上から二番目 『不忍池南側（水上音楽堂前交差点）』台東区立中央図書館所蔵 撮影：台東区
右上から三番目 『不忍池南側（水上音楽堂前交差点）』台東区立中央図書館所蔵 撮影：台東区
右下写真 台東区立中央図書館所蔵 撮影：台東区
（※上記5点いずれもトリミング加工実施）

不忍池と 水上音楽堂

調査のまとめ②

point
1

上野の文化性は 池への慈しみとともに

池とまちは、平らにつながりあい、深く関わり合う。江戸時代から現在に至るまで、不忍池を生活、文化、芸術、産業、眺望など様々に取り入れてきたのが上野のまちである。戦後の田圃化を経て、野球場建設計画や戦後の地下駐車場計画など、不忍池にまつわる危機はいつも、地元が声を上げて乗り越えてきた。

point
2

水上音楽堂は 池とまちのシンボル

水上音楽堂は戦後、不忍池に野球場を建設しようとする計画に反対した住民運動を踏まえて、1953年、当時の東京都都市計画課長・石川栄耀によって実現された。まちが池を守ったシンボルとしての施設である。その初代音楽堂はステージの背景が不忍池となっており、まちにも池にも開かれた空間構成を取っていた。

- 1) 国立国会図書館デジタルコレクション『錦絵でたのしむ江戸の名所』
- 2) ジャパンアーカイブス
- 3) 『上野繁昌史』より引用
- 4) google earth + カシミール 3D により作成
- 5) 『上野繁昌史』より引用
- 6) 読売新聞 1950.01.07 夕刊
- 7) 読売新聞 1989.10.10 朝刊

あそぶ



▲歌川広重「江戸高名会亭尽 池之端」¹⁾

のぞむ



▲横山松三郎が門弟越しに撮影した不忍池(1872)²⁾

癒し



▲絵葉書／上野眼科病院屋上より不忍池を望む(1929)

活かす



1951年夏に開催された納涼祭³⁾

集う



▲江戸趣味納涼大会⁵⁾



▲不忍池周辺の地形⁴⁾



守る

2

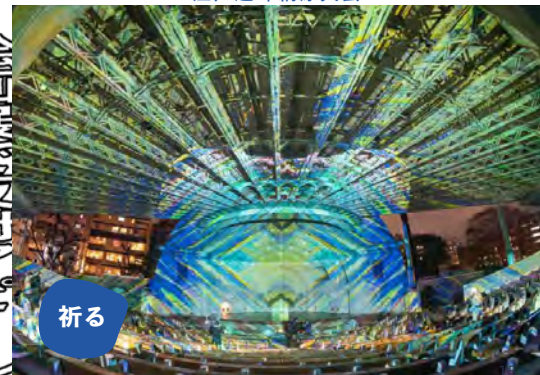
▲不忍池野球場建設計画(1950)⁶⁾



考える

▲不忍池地下駐車場計画(1986-)⁷⁾

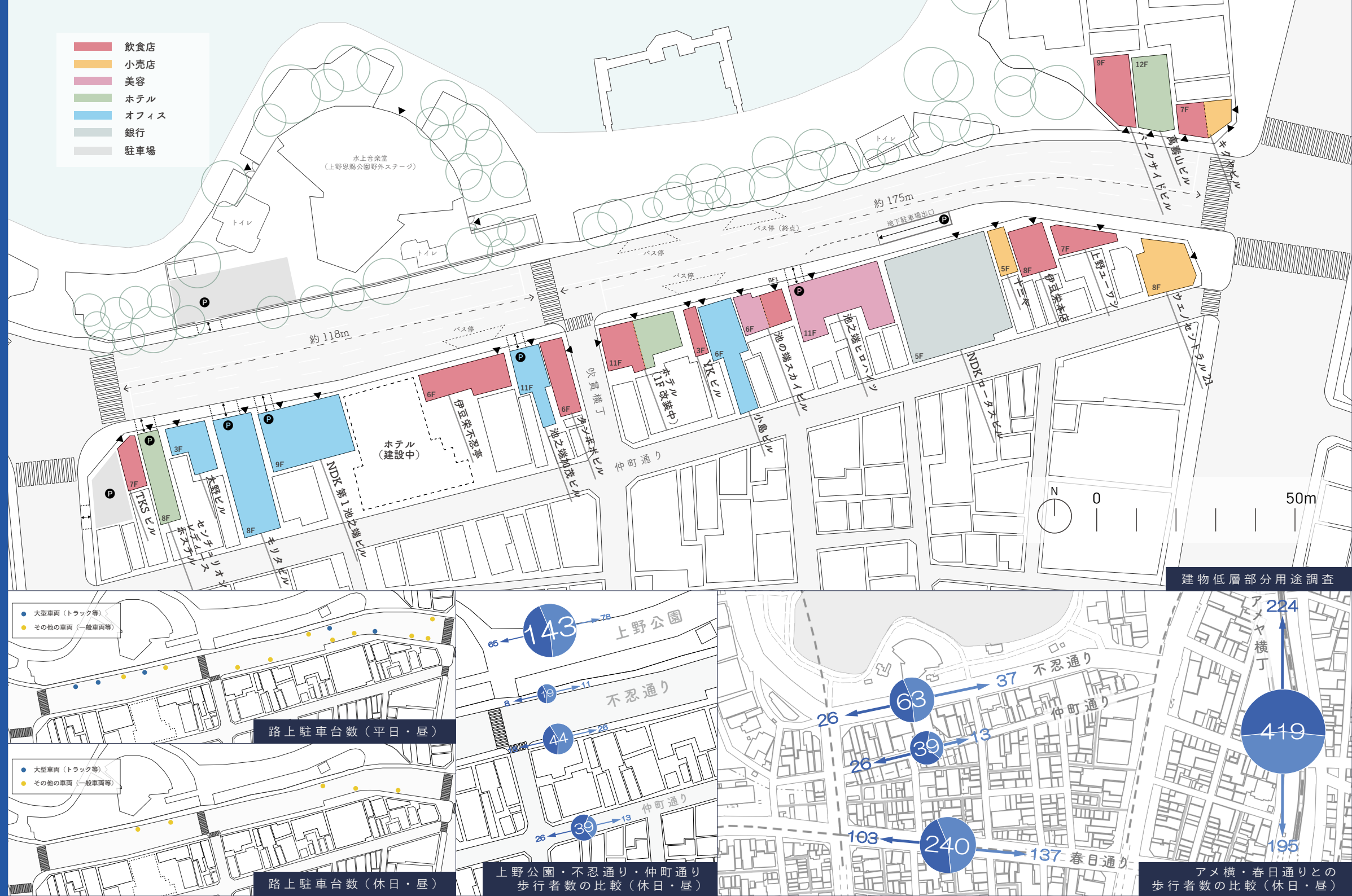
祈る



▲水上音楽堂×デジタル掛け軸(2021)

不忍通りの いま

調査のまとめ ③



不忍通りへの 課題と期待

ワークショップでの意見



“ほこみち制度”を試してみる。

➤➤➤ 「ほこみち」でできること

The diagram illustrates the transformation of a road cross-section. The top part, labeled '現行' (Current), shows a standard 4-lane road with two lanes in each direction, a central median, and narrow sidewalks. The bottom part, labeled '改築後' (After Reconstruction), shows a redesigned road with two lanes in each direction, expanded sidewalks, and various amenities. A large blue arrow points from the current state to the reconstructed state.

現行 (Current):

- 歩道 (Sidewalk)
- 路肩 (Shoulder)
- 車道 (Lane)
- 中央分離帯 (Central Median)
- 車道 (Lane)
- 路肩 (Shoulder)
- 歩道 (Sidewalk)

改築後 (After Reconstruction):

- 歩行者の利便増進を図る空間 (Space for improving pedestrian convenience)
- 歩道 (Sidewalk)
- 植樹帯 (Planting Zone)
- 自転車通行帯 路肩含む (Bicycle Lane including Shoulder)
- 車道 (Lane)
- 車道 (Lane)
- 自転車通行帯 路肩含む (Bicycle Lane including Shoulder)
- 植樹帯 (Planting Zone)
- 歩行者の利便増進を図る空間 (Space for improving pedestrian convenience)
- 歩道 (Sidewalk)

有効幅員 (Effective Width):

- 有効幅員 (Effective Width)
- 植樹帯 (Planting Zone)
- 有効幅員 (Effective Width)
- 歩道と車道の分離 (Separation of Sidewalk and Lane)
- 舗装 (Paving)

バリアフリー基準 (Barrier-free Standards):

- 車いす同士がすれ違える歩道の有効幅員 (2.0m 以上) を確保 (Ensure effective width of sidewalk for wheelchair passage (2.0m or more))
- 歩道の縦断勾配 5% 以下 (特例値 8%) (Longitudinal slope of sidewalk 5% or less (special value 8%))
- 歩道の横断勾配 1% 以下 (特例値 2%) (Cross-slope of sidewalk 1% or less (special value 2%))
- 植樹帯や並木や柵の設置 (Installation of planting zones, trees, or fences)
- 緑色の設置 高さ 15cm 以上 (Installation of green color, height 15cm or more)
- 透水性舗装を活用し、平坦で滑りにくくく水はけが良い仕上げとする (Use permeable paving, flat and non-slip, good water drainage finish)

オープンカフェ
購買施設

看板・アーチ
広告

サイクル
ポート

ベンチ
フラワーポット

「ほこみち」のメリット

- 占用料を得ることが可能。
- 地元が道路の日常点検を担ってくれることによる負担減。
- 道路に人目が生まれることで、地域の美化や治安改善にもつながる可能性。

》》》 全国各地の「ほこみち」事例

岡山一県庁通り

「池とともに生きるまち」を表現する

地元がもっと不忍池に関わる。池のほとりで過ごす。不忍通りがその舞台。

様々な視点から池を楽しむ

立体的に池を享受する。屋上の活用や、視線の抜けを考える。

不忍通りで掲げる 6つのコンセプト

「音楽堂へ向かうみち」として魅せる

音を楽しむ。音楽堂からのBGM。鳥のさえずり。水の声。草木のざわめき。

自然や池にやさしい環境づくり

雨水が染み込み、生きものとふれあい、SDGsに貢献する道。

境界を弱め、もっと気軽な行き来を促す

まちから池へ、池からまちへ。対岸を近く感じられる工夫を重ねる。

夜訪れたくなる池のほとりへ

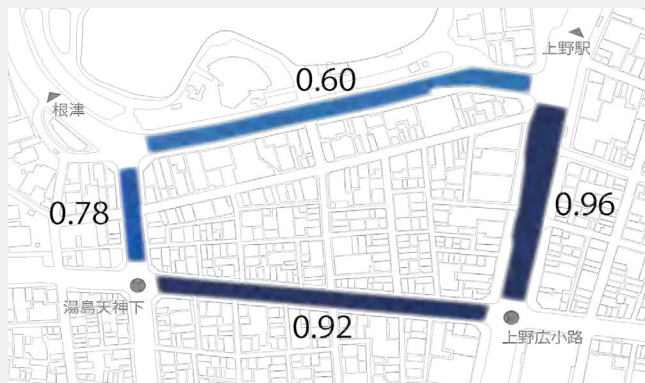
安心で安全。女性が安心して夜もそぞろ歩ける場所に。

もしも車道を狭めることができたなら

思い切って、歩道をひろげる。

交通シミュレーションを
してみると。

現状の混雑度



片側1車線にした場合の混雑度



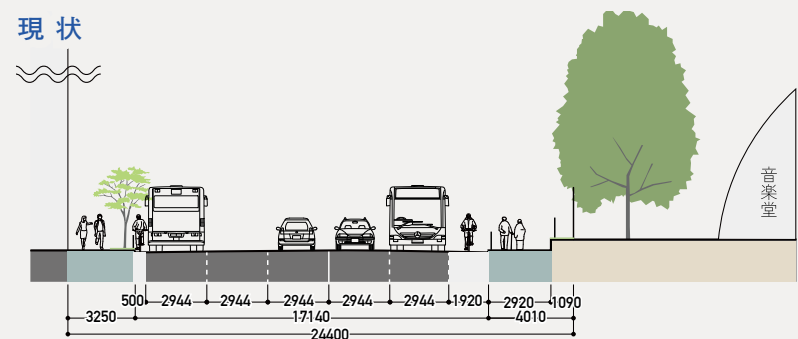
東京大学都市デザイン研究室が実施した交通量調査結果¹⁾と平成27年度道路交通センサスのデータを用いて、不忍通りの混雑度のシミュレーションを行った。現状の不忍通りの混雑度は0.60と余裕がある(1.00で設計容量通り)。不忍通りを片側1車線とし、一定交通量が周辺の道路に流れた場合をシミュレーション²⁾したところ、それでも不忍通りの混雑度は0.74に留まり、周辺道路も1.00を超えることはない想定される。

シミュレーション協力：坂田亮輔（東京大学大学院修士1年）

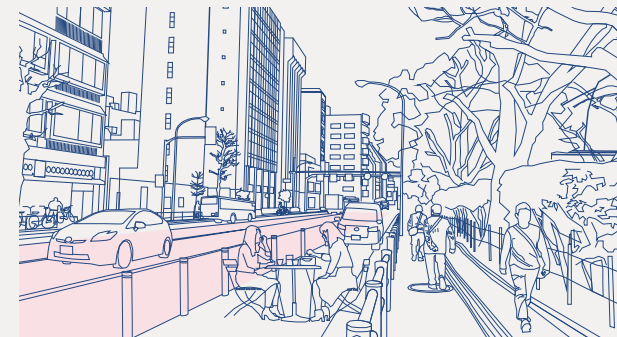
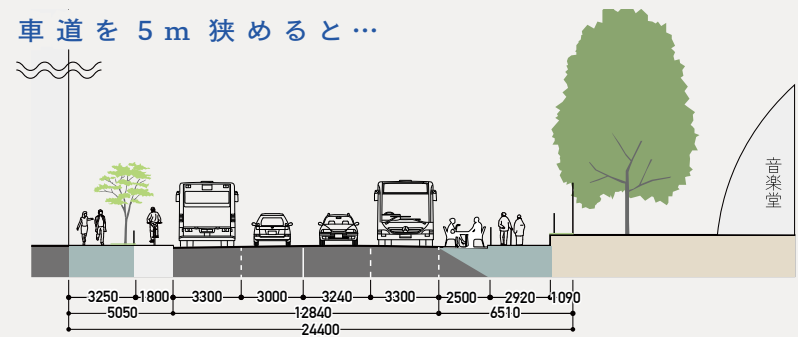
1) 平日昼に10分間交通量を測定。

2) 根津⇄不忍通り⇄上野駅を移動する自動車は現況ママ、湯島天神下⇄不忍通り⇄上野駅、上野広小路⇄不忍通り⇄根津を移動する自動車のうち、12時間当たり1000台分の自動車が春日通りを通ると仮定。

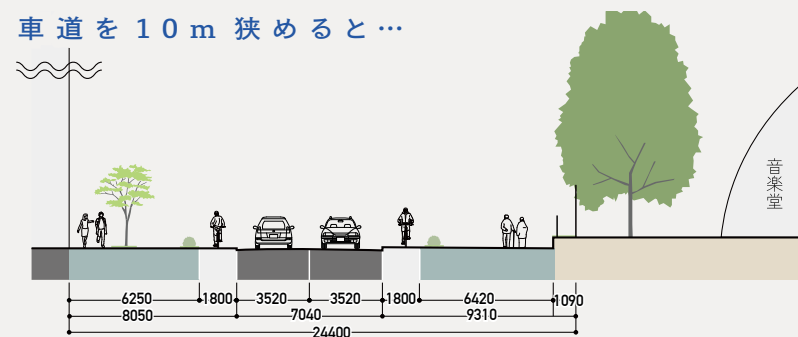
現状



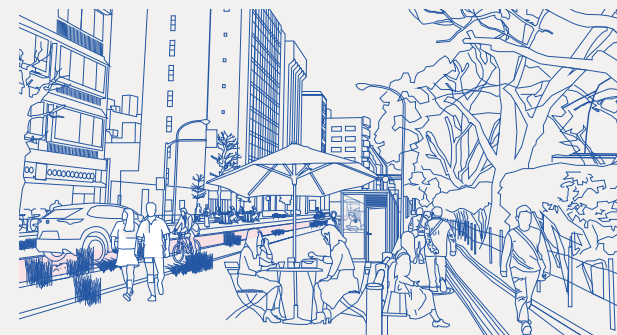
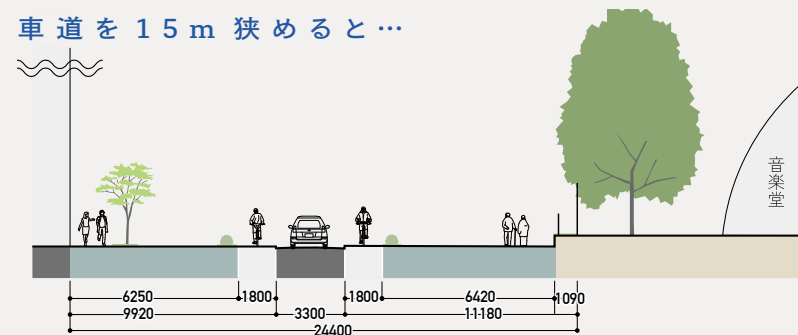
車道を5m狭めると...



車道を10m狭めると...



車道を15m狭めると...



こんな車線の減らし方があるのでは？

いろいろ考えられる、ヒト空間の生み出し方。



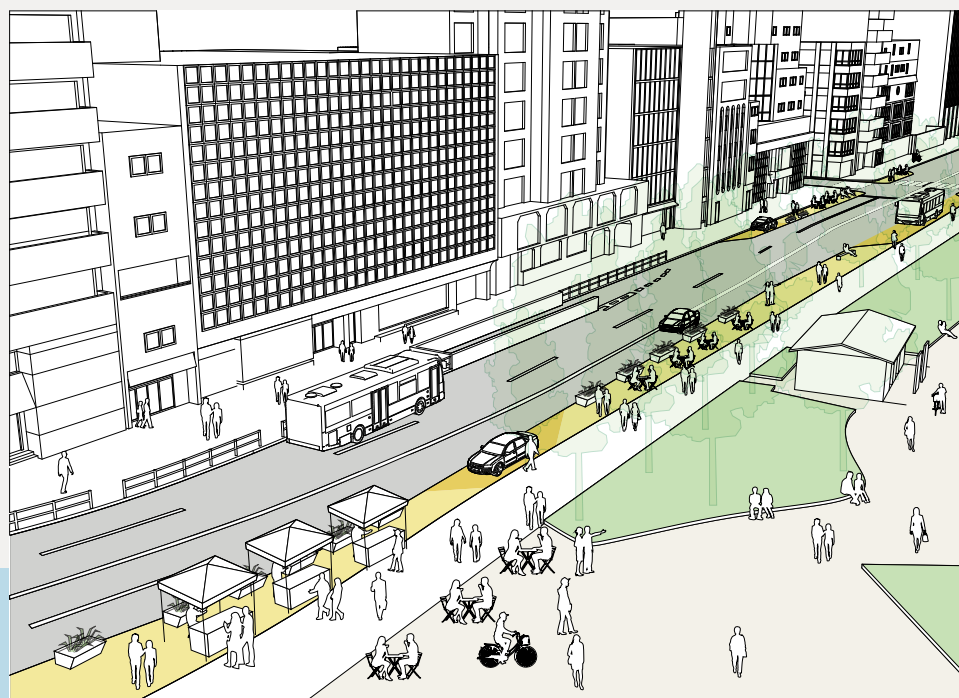
現状の不忍通り

pattern

1

フレキシブル車線導入案

片側1車線ずつを柔軟利用する案。曜日や時間帯による空間の使い分けも考えられる。



時間帯によって中央線をずらすなど車線を柔軟に使う案もある

あまり現状と変わらない感じもする

これくらいのイメージから社会実験してみたい

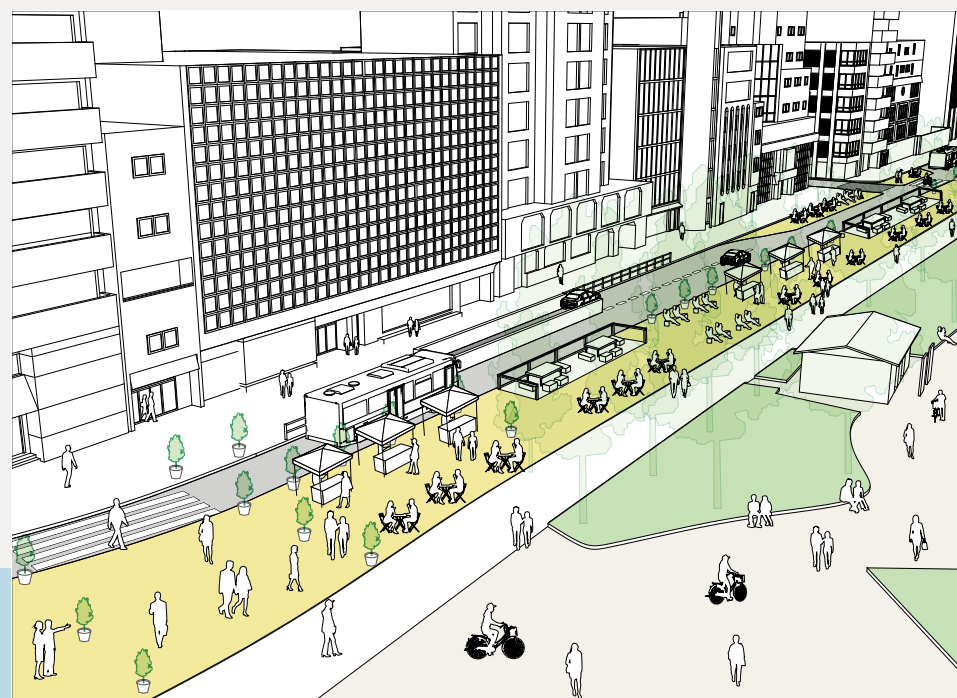
荷捌きやごみ収集のニーズを把握する必要があるそう

pattern

2

一方通行案

東から西への一方通行とする案。大幅に車道を削減し、歩道を拡大。



十分歩道が広くて、道路上カフェとかもつくれそうで面白い

仲町通りは反対向きの一方通行にしてみたら？

現実性が高いのではないかな

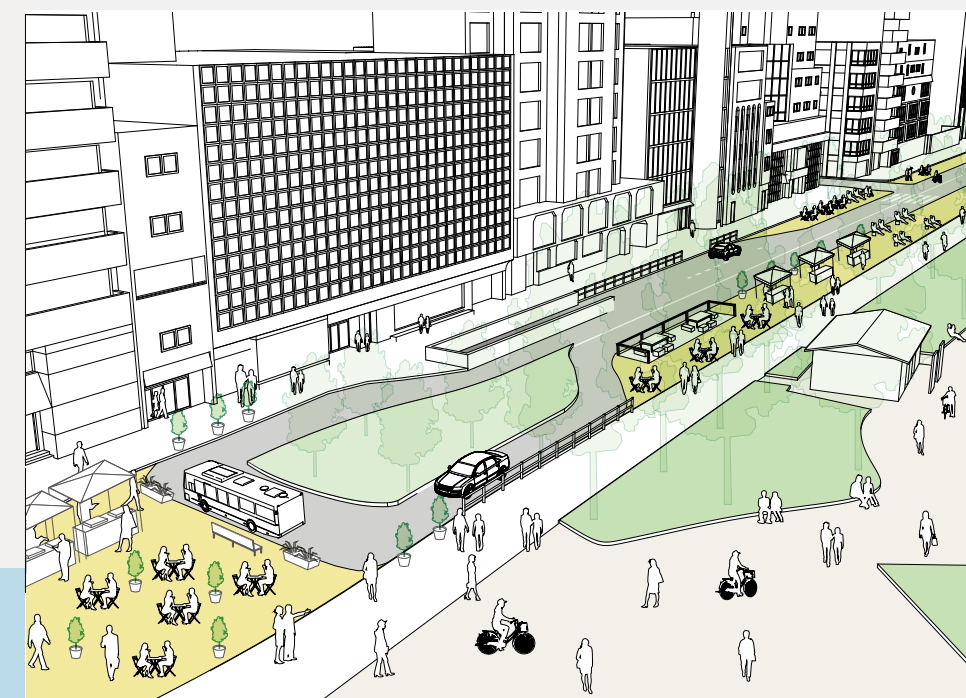
車道と歩道の一体化を不忍通り全体でやるのも面白そう

pattern

3

ロータリー化案

東端にロータリーを設け、折り返しルートに。中央通りとの交差点付近に広場ができる。



非常に夢のある話。一気に公園っぽくなる

周辺道路への交通負荷はやや心配

御徒町パンダ広場くらいの大きさの広場になりそう

いまの都バスを前提にすると回りきれない。未来の交通手段を想像したい

育てたい、こんな風景やアクティビティ。

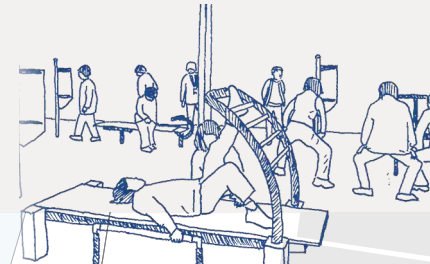
アイデア集その①、使いこなし編。

生きもの観察もできる遊び場



音楽堂裏の水路で子どもたちと豊かな生態系を体感する

身体を動かすきっかけが沢山



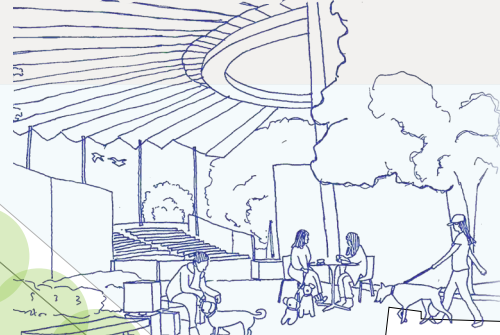
日常的に健康遊具の使用やラジオ体操がおこなわれる場所にしたい

近隣住民がピクニックする水辺



音楽堂から流れる音楽や周辺の音を聞きながらピクニックができるかも

ふらっと立ち寄れる音楽堂



散歩する人々が気軽に通り抜けられる日常的に入れて、憩える場所

池のほとりに屋台やマルシェ



地元店舗のポップアップ出店も夜の賑やかさは池のほとりらしい風景

美しく安心な光環境



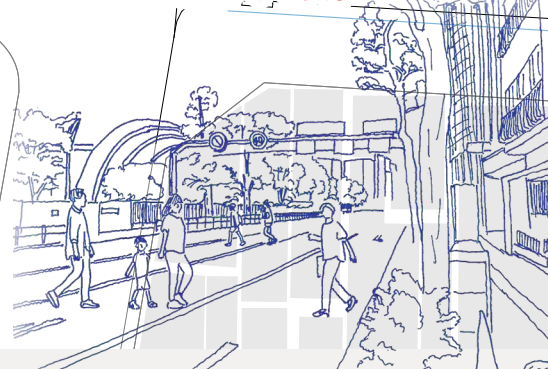
樹木や足元を照らすと明るく感じるイベント時にはイルミネーションも

日常的に音楽が聞こえてくる



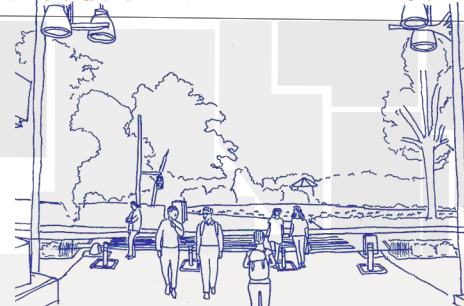
演奏可能区画を確保して音楽堂のある暮らしをもっと感じる

思わず対岸へ



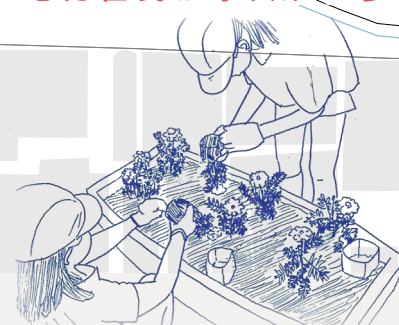
向こう側が前よりも近く感じる池とまち間の行き来がしやすくなる

吹貫横丁が池とまちの玄関に



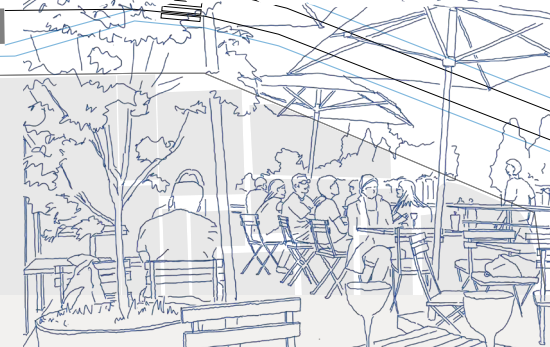
池とまちをつなぐ吹貫横丁を完全歩行者優先化してエントランスに

地元住民が手入れに参加



まち側にも自然を増やしたい参加型の街路景観づくりの仕組み

オープンテラスが連なって



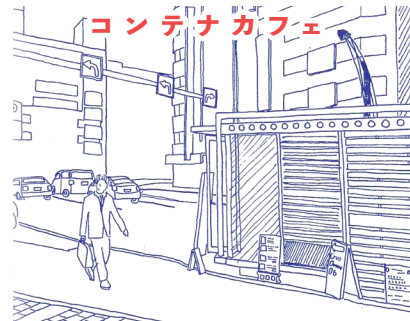
オープンテラスのある店舗が増えていく犬と一緒にランチもできる

こんな機能も組み込めるかも。

アイデア集その②、機能デザイン編。



シェアサイクルポート
テラス配置や観光バス乗降等のニーズを受け止める柔軟なレーンを設定



コンテナカフェ
道路上にコンテナカフェを置き公共トイレの管理にも目を配ってもらう



観光バス乗降スペース
上野の山、上野のまちをめぐりやすい観光客の新たな発着点に



ライジングボラード
関係車両だけが進入可能
スマートな車のコントロール



屋上公開空地
池を眺めるテラスをつくと事業者側にもメリットがある仕組み



レインガーデン
雨水が景色となり水がゆっくり地面に染みこむ雨の庭



充電&WiFiスポット
バス停まわりから居心地を向上「待つ時間」も豊かに



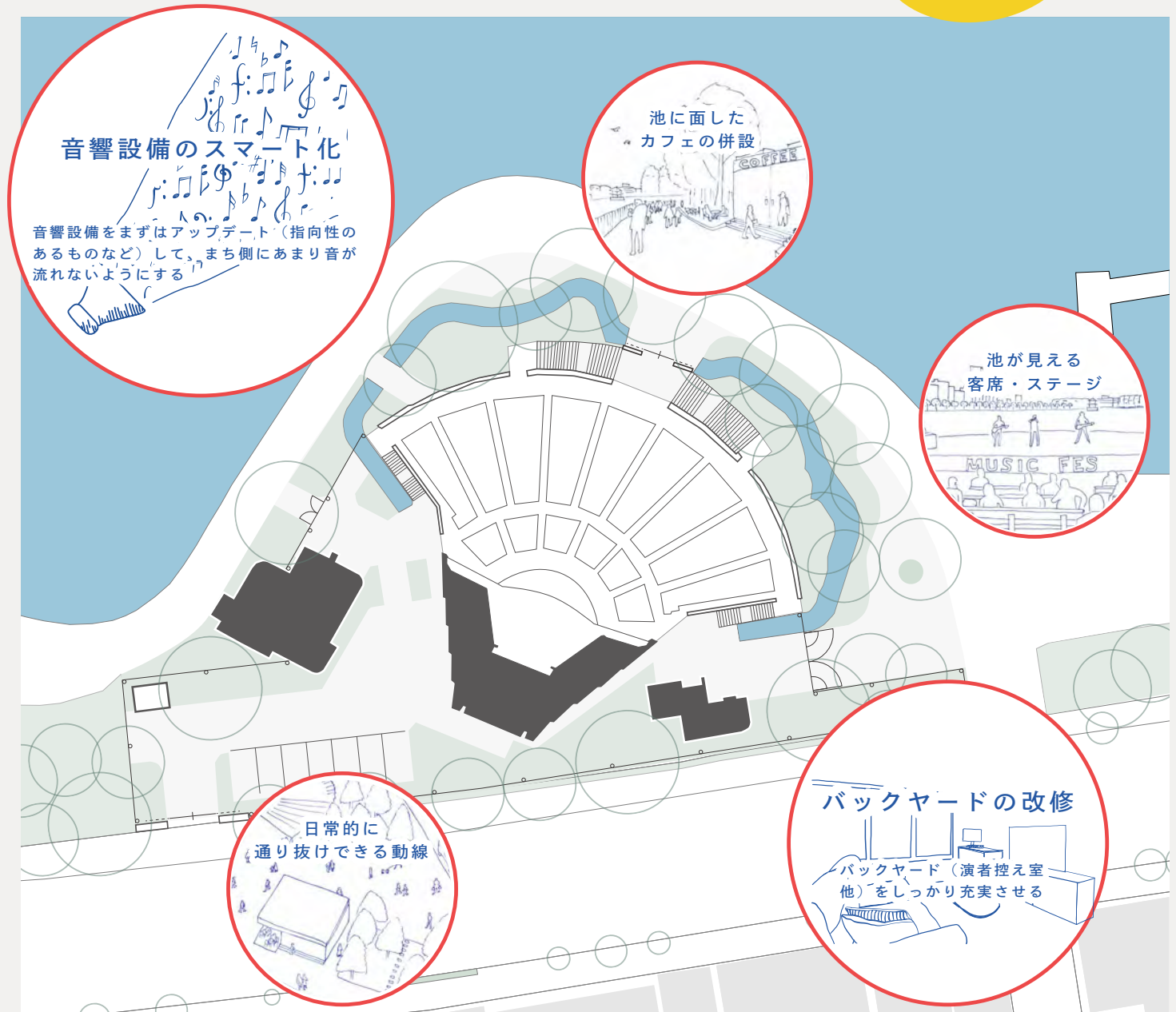
デジタル案内板
地域の催しをアピールしたり広告収益を道路運営に還元することも



アウトドアオフィス
池を眺めや音楽堂からBGMを楽しみながら作業ができる場所

音楽堂も時代にあわせて見直したい。

アイデア集その③、音楽堂デザイン編。

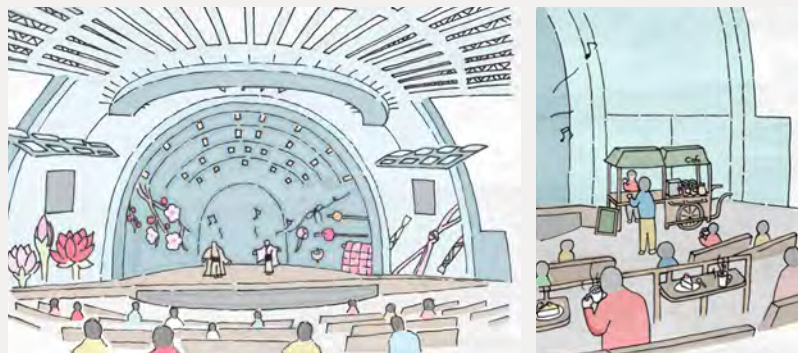


地元ができる取り組みからはじめたい。

不忍通りをウォーカブルにするための最初のアクション。

いけ・まち一体のアーティイベント

商店会が貸切り音楽堂をまちに開放してみる。まち側で行われているアーツ & スナック運動と連動し、池とまちに新たな回遊を生み出す。フェンスをアーツで彩るなど、まちが不忍通り・音楽堂を実験的に使いこなす。



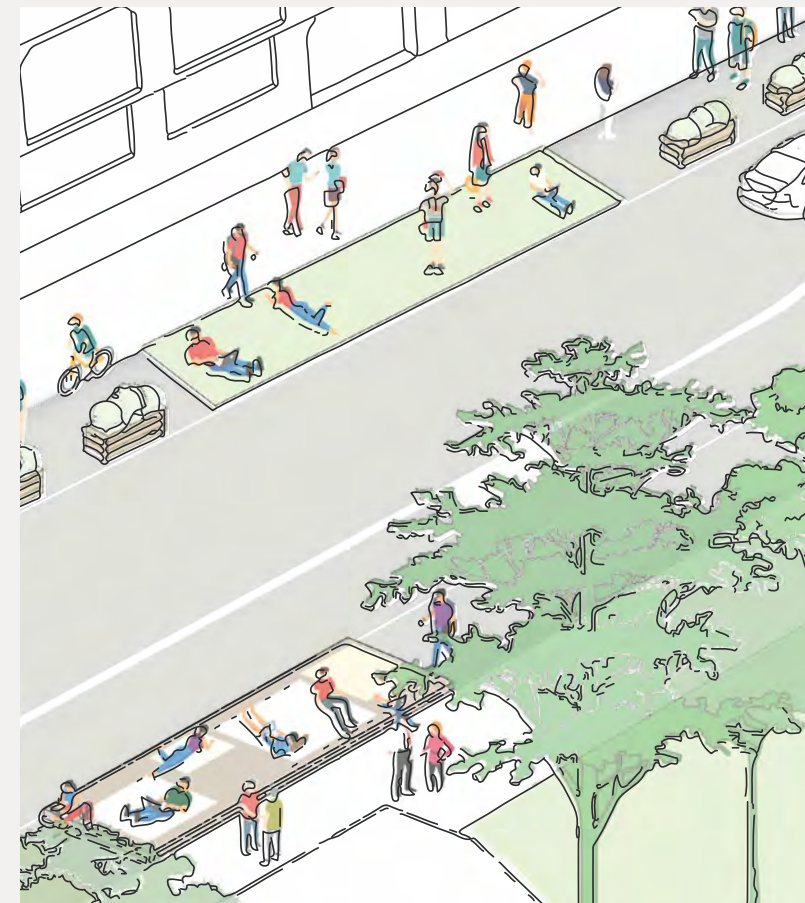
ライトアップ実験

暗さを作り出している植栽帯をライトアップし、安心安全で美しい池のほとりの夜をつくりだす。アーツ & スナック運動に絡めては、吹貫横丁から辯天堂へと連なる光のアートで、池とまちを繋いでみる。



パークレットづくり

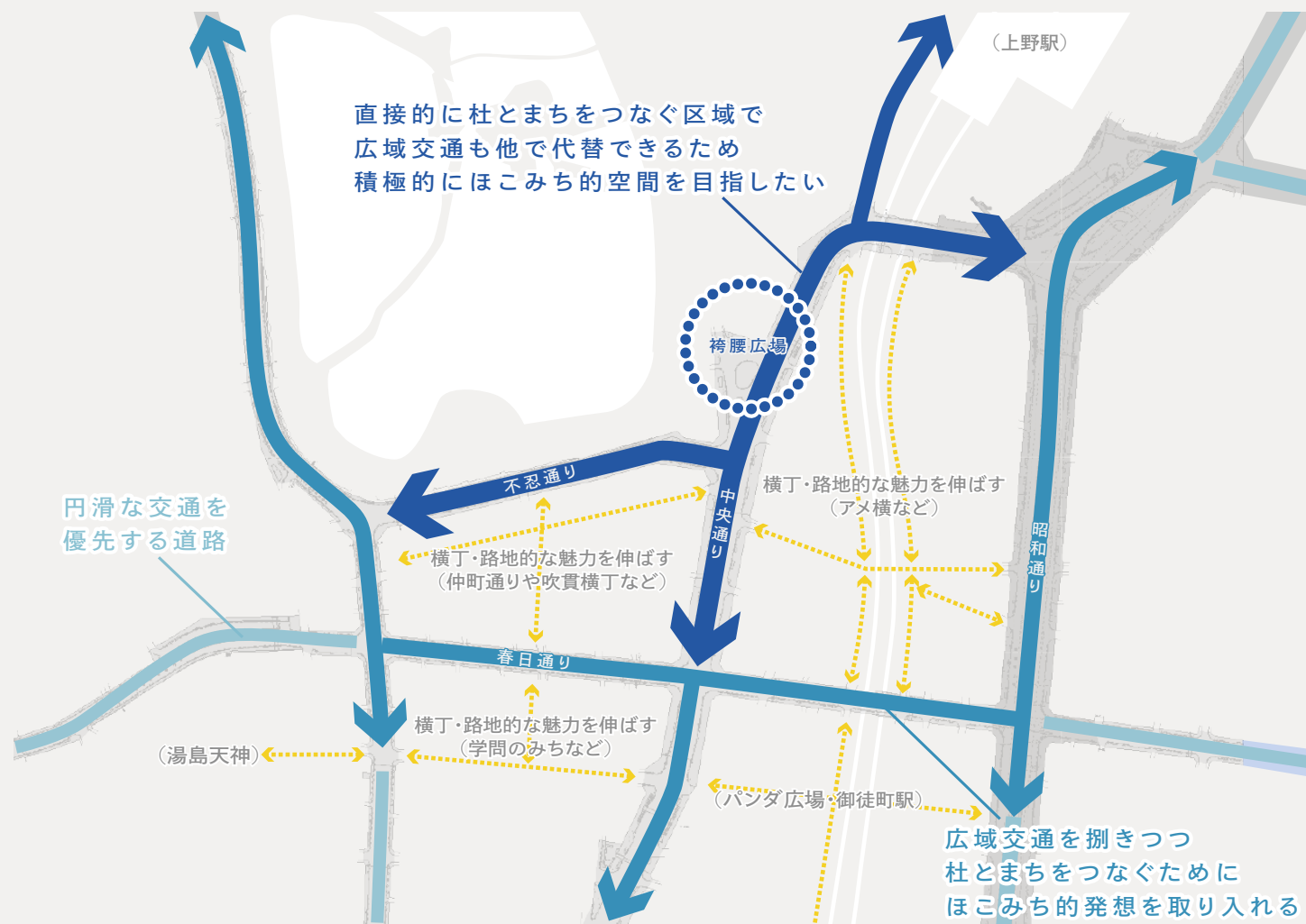
実質路上駐車スペースとして使われてしまっている歩道側の車線を一時的に占用し、人のための滞留空間・パークレットを創出してみる。どのような使い方が可能か、いろんな人たちで体感・実験してみる。



最先端のウォーカブル都市を目指して…

「ほこみち」的な発想で上野のまちづくりをつなげたい。

中央通りとともに作るウォーカブルの中心



不忍通りからはじめるメリット

1. 許可を得やすい

広域交通ネットワーク・交通量の観点から、車道の転換も視野に入れて考えやすい。

2. ビジョンを伝えやすい

上野公園に面しており、まちづくりビジョンの「杜とまちを重ね、つなぐ」を象徴的に示せる。

3. 合意形成しやすい

沿道の権利関係者が比較的限られており、社会実験レベルでの合意形成がとりやすい。

4. 行動に移しやすい

仲町通りでの活動実績があり、行政との信頼関係もあるため、活動を展開しやすい。

イメージしている今後のプロセス

0-3年後 研究会 チーム作り 社会実験

商店会による音楽堂貸切実験や第3回アーツ&スナック運動との連動など、自分達でできることから始める。

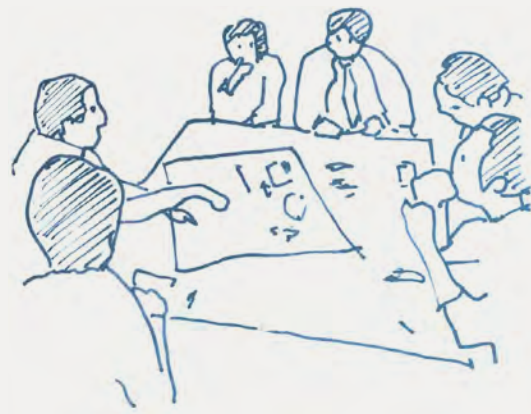
3-5年後 道路空間再編 ほこみち制度 マネジメント組織

社会実験を経て、歩道拡幅や滞留施設の設置へ。ほこみち制度の適用とマネジメント組織の発足を目指す。

5-10年後 水上音楽堂 設備改修 リノベーション

上野公園の次回再整備時期に向け、不忍通りと連動した音楽堂のあり方や、必要な設備更新を要望していく。

ウォーカブルな不忍通りを見据えつつ、スモールステップの社会実験を通じて、街の人たちと一緒に楽しみ、街がどうあるべきか皆で走りながら考える。その一步一步の積み重ねが理想の姿への近道。じっくり育てながら、道路の再編、水上音楽堂の再生へと歩みを進めていきたい。



一緒に活動してくれる方を募集しています。

2022 年度以降も定期的な活動が続けます。活動に参加してみたい方はお気軽にお問い合わせ下さい。

問合せ先：

しのばずいけまち研究会事務局

東京大学大学院都市デザイン研究室内

shinobazu-ikemachi@ud.t.u-tokyo.ac.jp

この冊子について

『しのばずいけまち研究会 コンセプトブック 2021』

2022 年 3 月 31 日発行

発行：しのばずいけまち研究会

作成：東京大学大学院都市デザイン研究室

This work was supported by JSPS KAKENHI Grant
Number JP21H01502.

研究会参加メンバー一覧（五十音順・敬称略）

阿子嶋 翔（東京大学）

飯島 充実（株式会社アミューズ）

池内 亮太（東京大学大学院）

植田 啓太（東京大学大学院）

大谷 宗徳（日鉄興和不動産株式会社）

小野 道生（株式会社都市計画設計研究所）

河崎 篤史（東京大学大学院）

湖東 陸（東京大学大学院）

齋藤 唯史（日鉄興和不動産株式会社）

末次 孝行（日鉄興和不動産株式会社）

竹内 敬一（十三や商店）

道明葵一郎（有職組紐道明）

中川 正輝（東京大学）

中島 直人（東京大学大学院）

永野 真義（東京大学大学院）

二谷 仁吾（小池屋呉服店）

日高 凌（東京大学大学院）

福岡 俊弘（合同会社スノウクラッシュ）

藤井 靖子（きもの池之端藤井）

藤井裕美子（きもの池之端藤井）

萩原 良季（日鉄興和不動産株式会社）

前川 弘美（長岡商事株式会社）

宮内 雅康（有限会社宮内写真場）

森重 伸悟（元黒門町町会）

劉 嘉林（東京大学大学院）

渡邊 大祐（東京大学大学院）

